

報道関係各位

2019年6月11日

国立大学法人東京医科歯科大学

**「コモン難病※」である炎症性腸疾患(IBD)患者に対して、  
スマートデバイスを用いた診療サポートを行う臨床研究(観察研究)を開始。**

国立大学法人東京医科歯科大学(学長:吉澤 靖之ノ以下、東京医科歯科大学)は、「コモン難病※」で炎症性腸疾患(IBD)の一つである「潰瘍性大腸炎」を対象として、スマートデバイス(スマートフォンなど)を用いて患者が日常生活の自己管理をしつつ、本学のIBD専門医による見守りを受けながら、かかりつけ医での通院診療を行う臨床研究(観察研究)を開始します。

## 【本研究の背景】

一般的に難病は、その診断・治療のために高度・専門的な知見が必要で、治療・服薬等が長期にわたることとなれば我が国の医療制度にも大きな負荷がかかることとなります。また、患者個人にとっても、日常生活において、遠方の専門病院での治療のみならず、通院や診察待ちのために多くの時間を要することはQOL(生活の質)の観点から望ましいことではなく、特に、患者数の多い難病(コモン難病※)ともなると、こうした弊害が社会的に顕在化することとなります。

一方で、難病であっても病気の種類や程度によっては、日常生活に支障のない状態にコントロールすることが可能となりつつあり、本研究の対象である潰瘍性大腸炎は、多くの場合、服薬のコントロールと日常生活の自己管理によって、再発を効果的に抑制できると考えられています。しかしながら、それを一人で管理することは容易ではなく長続きしない傾向があることから、本研究では、スマートデバイスを用いて患者本人による自己管理を行い、それを本学のIBD専門医が適切に見守ることができる環境で、近くの医療機関(かかりつけ医)に通院する仕組みを提案し、その有用性や効果などを検証します。

本学は2018年4月19日付けで株式会社日立製作所と「TMDU オープンイノベーション制度」に基づく連携協定を締結しており、本研究で用いる試験用ソフトウェアは、同協定に基づき、共同開発を進めております。

## 【本研究の概要】

・本学において治療を継続し症状が安定しているIBD患者のうち、アクセスの良い「地域の医療機関」での治療継続(通院)を希望する場合、本研究に協力する医療機関を紹介します。患者の希望や条件と合致した医療機関はいわゆる「かかりつけ医」となります。

- ・患者は、自身が保有するスマートデバイスに日々の状態等を入力して自己管理を行います。かかりつけ医には月1回通院してスマートデバイスの画面を確認してもらい、診察後にその結果等(検査を行った場合はそのデータ)を入力します。
- ・毎週、本学のIBD専門医が患者が入力したデータを確認します。かかりつけ医は必要に応じて本学の専門医と相談しながら診療を行います。なお、入力したデータは、本学の研究参加医師とかかりつけ医だけが閲覧できます。
- ・入力した情報から症状の悪化等が懸念される場合等は、画面に受診勧奨の表示が出ます。
- ・研究期間は、2019年8月23日～2020年3月31日を予定しています(変更の可能性も有)

なお、本研究への参加を検討・希望する医療機関を対象として、7月6日(土)に、本学において説明会(医療機関関係者のみの非公開)を行います。説明会の実施内容等についてお問合せいただく場合は、7月8日(月)以降、下記<本プロジェクト全般に関すること>までお願いいたします。

※ 本臨床研究においては、一定数以上の患者が存在する難病を「コモン難病」と総称することとしています。

#### 【問い合わせ先】

##### <本プロジェクト全般に関すること>

東京医科歯科大学 オープンイノベーション機構  
〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45  
TEL:03-5803-4736 FAX:03-5803-0286  
E-mail: morita.tlo@tmd.ac.jp

##### <本臨床研究に関すること>

東京医科歯科大学医学部附属病院 消化器内科  
〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45  
FAX: 03-5803-0268  
E-mail: kii.gast@tmd.ac.jp

##### <報道に関すること>

東京医科歯科大学 総務部総務秘書課広報係  
〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45  
TEL:03-5803-5833 FAX:03-5803-0272  
E-mail: kouhou.adm@tmd.ac.jp